

社会倫理研究所2017年度第4回懇話会
「いのちの支援」研究プロジェクト

自殺の社会学

自殺はなぜ起きるのか？

日時：2018年1月20日（土）14:00～17:30

場所：南山大学 R棟4階 R49教室 （13:30開場）

講師：**岡 檀**（慶應義塾大学SFC研究所上席所員）

演題：自殺希少地域のコミュニティから、
「なぜ自殺が起きないのか？」を学ぶ

講師：**阪本俊生**（南山大学経済学部教授・社会倫理研究所第二種研究所員）

演題：自殺を防ぐのはなに？
・・・お金、仕事、社会の絆、それとも希望？

司会：コメンテータ：**森山花鈴**
（南山大学社会倫理研究所第一種研究所員）

「自殺を予防する」とはどういうことなのか。日本では2006年に自殺対策基本法が策定され、「自殺予防」は政府の課題となり、その後、自殺予防のための政策が実施されてきている。しかし、そうした動向とともに、私たちは改めて、直接的な予防対策だけで自殺を減らすことはできるのか、また、そもそも「自殺を減らす」とは何を意味しているのかを問うべきではないか。自殺というものが私たちの社会においてどのような意味を持つのかを探ることは、「自殺予防対策」の妥当性と有効性を問うためにも必要なことだと思われる。

本懇話会では、自殺研究の中でも社会学の立場から自殺の研究に取り組む二人の研究者をお招きし、「自殺はなぜ起きるのか」について考える場を設けたい。これまで自殺希少地域を研究してきた岡檀氏には「自殺が起きない」要因についてお話いただき、さらに、社会学の理論的見地から現代の自殺問題を分析する阪本俊生氏には人が自殺に至る要因について論じていただく。

【お問合せ】南山大学社会倫理研究所

Phone: (052) 832-3111 (内線3413-3414) Fax: (052) 832-3703

E-mail: ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp HP: <http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/>